

議会だより

つるい

幌呂小学校の入学式

小学生生活も

令和元年もスタート!



TOPICS

- 2019年度予算の中身は? P2
- 3月定例会 補正予算の中身は? P8
- 7議員が村政を問う! 一般質問 P12
- 議員の4年間を振り返って P20
- 新しい議員の紹介と抱負 P22



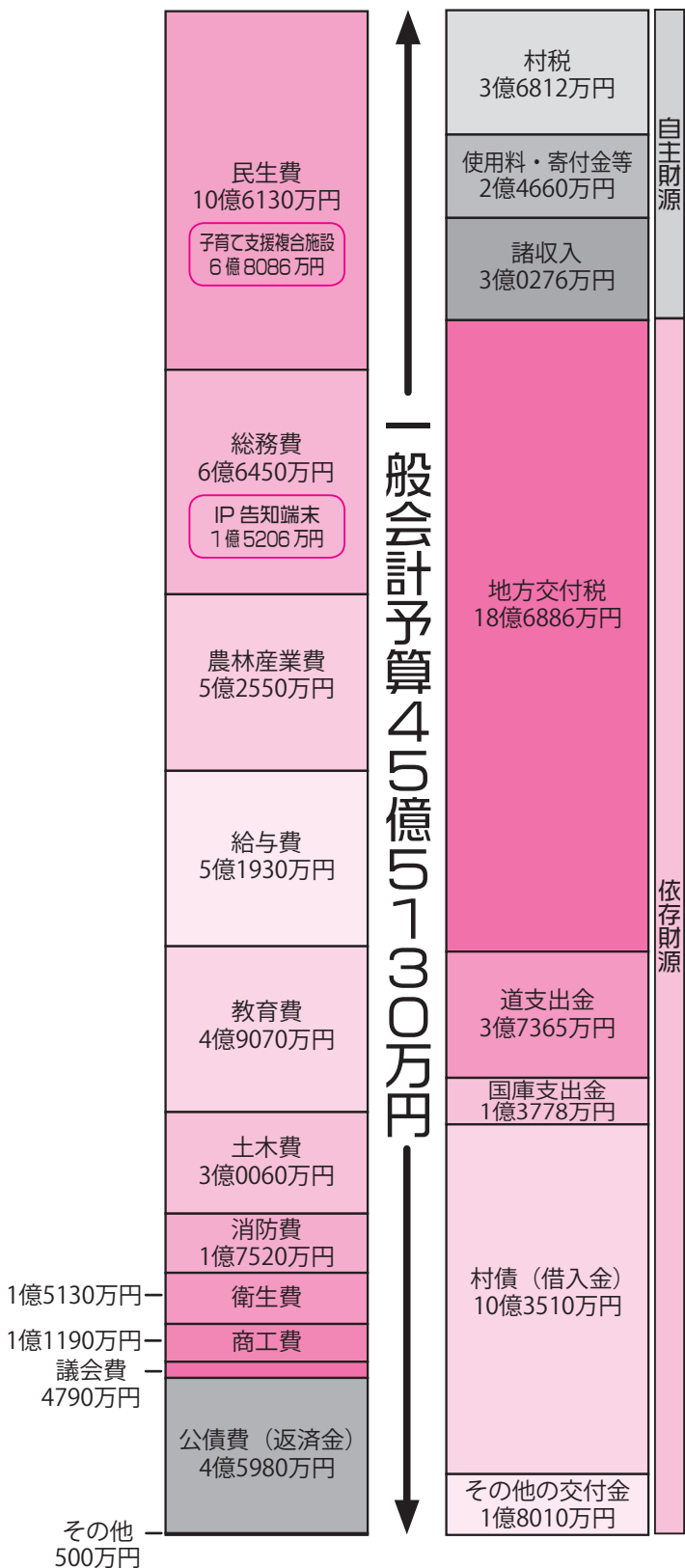
鶴居村マスコットキャラクター
「つるぼー」

IP告知端末も新機種に センターと児童館

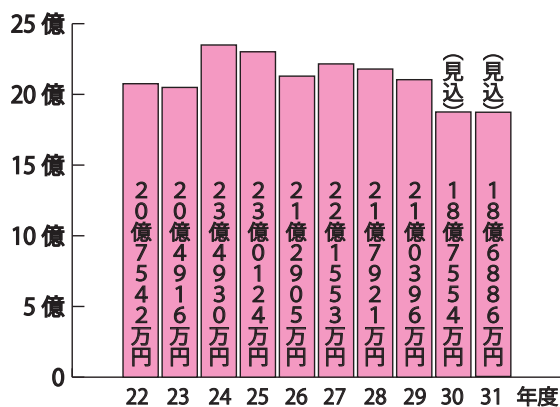


予算の概要

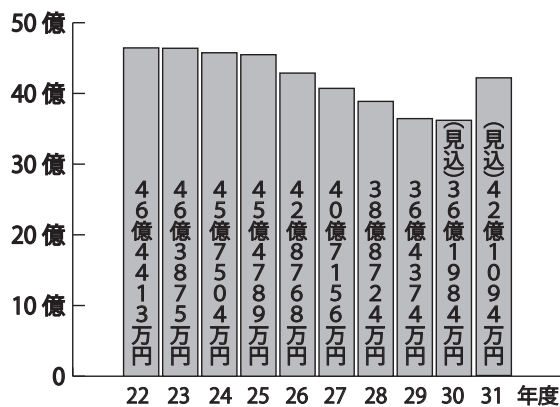
歳出 歳入



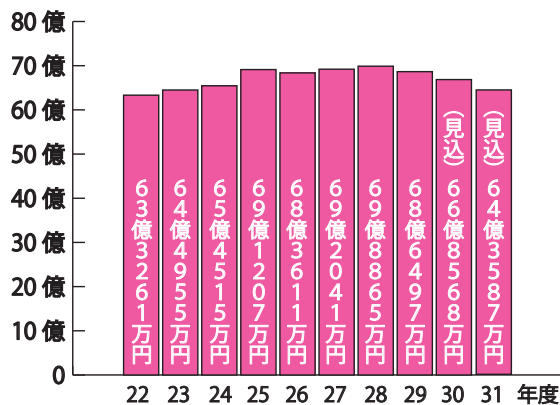
▶ 地方交付税の推移



▶ 借入金の推移（一般会計）



▶ 基金残高(貯金)の推移(特別会計含む)



子育て支援複合施設に6億8000万円 0歳からの保育園と子育て支援セ

平成31年度一般会計予算の特徴

- ①前年比3.3%増の45億1300万円。
- ②前年度は市町村備荒資金組合の積立金を取り崩し5億円を別の基金に積立てたため、実質的には6億4300万円の増加である。(実質16.6%増)

平成31年度の一般会計当初予算案は、総額で45億1300万円となり、前年より1億4300万円の増額となりました。

ただし、平成30年度は今後の公共施設などの更新に備え、公共施設等整備基金に北海道市町村備荒資金組合から5億円を資金移転計上していたため、実質的には6億4300万円の増額となっています。

一般会計と6特別会計を合わせた総額は53億5900万円となり、前年より1億6830万円の増額となっています。

新年度には、西公共エリアの子育て支援複合建設事業やファミリーース

スポーツセンターの解体工事、IP告知端末機の更新、テニスコートの整備、中雪裡下久著呂線改修工事など、普通建築事業費が16億8001万円となり、投資的経費の割合が37.2%となりました。

地方交付税は特別交付税を含めた総体では、前年より3.4%減の18億6886万円としました。

村税は、個人・法人村民税の増加や固定資産税の増加を考慮し、前年より5.5%の増としました。

また、財源不足については、起債の借入や基金繰入、北海道市町村備荒資金組合からの取り崩しにより賄うこととしました。

総額53億円超の予算

平成31年度各会計予算

会計別	予算	増減	前年度比	議決の内容
一般会計	45億1300万円	▲1億4300万円	▲ 3.3%	全員賛成により可決
水道特別会計	5220万円	▲ 1270万円	▲ 32.2%	全員賛成により可決
農業集落排水特別会計	5510万円	▲ 190万円	▲ 3.3%	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	3億6220万円	▲ 700万円	▲ 2.0%	全員賛成により可決
診療所特別会計	8270万円	▲ 100万円	▲ 1.2%	全員賛成により可決
介護保険特別会計	2億5600万円	▲ 750万円	▲ 3.0%	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	3780万円	▲ 100万円	▲ 2.6%	全員賛成により可決
合計	53億5900万円	▲1億6830万円	▲ 3.2%	

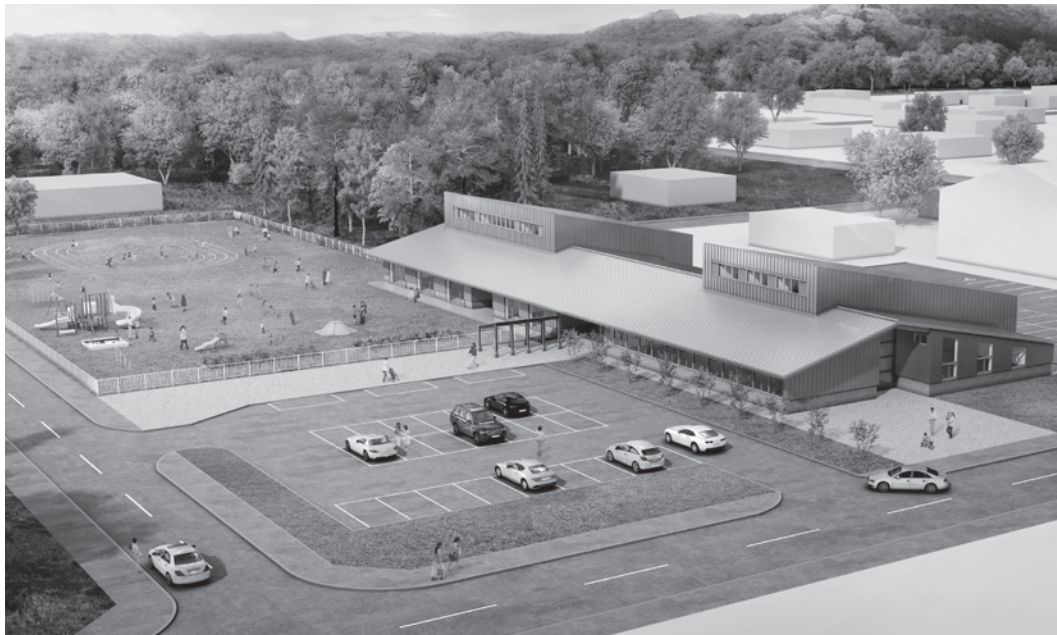


子育て支援 複合施設の建設

新規

6億8086万円

予算の
注目事業



鶴居保育園が子育て複合施設へ

鶴居西公共エリアの旧郷土資料館や村民プール、テニスコートを解体し更地になったところに、子ども子育て支援複合施設を新築します。令和2年の秋ぐらいの開設を予定しています。



新総合体育館のイメージ

老朽化したファミリースポーツセンターを建て替える「新総合体育館」の実施設計を今年度行います。

新総合体育館には、新たにランニングデッキやシャワー施設なども予定しています。

新規

▽新総合体育館の実設計

3770万円





さらに利便性が高まるIP告知端末（イメージ）

現在、各家庭に配置され、毎朝、毎晩、村の情報を発信しているIP告知端末が保守期限を迎えるため、全てのIP告知端末の入れ替えを行います。

今回の入れ替えでは、新たにスマホへの情報発信も出来るようになり、専用のアプリを使うことで、いつでもどこでも、村の情報を得ることが出来る予定となっています。

新規

1億5206万円

▽IP告知端末の入れ替え

鶴居西公共エリアにあったテニスコートが解体されましたが、新たにサッカー場の駐車場横にテニスコート2面を建設します。



テニスコート建設予定地

新規

5500万円

▽テニスコート新設

鶴居東1丁目に社会福祉協議会事務所を含む地域福祉拠点施設の基本設計と実施設計を行います。



地域福祉拠点施設の建設予定地

新規

1433万円

▽地域福祉拠点施設の設計

現在、日本で風疹が流行しており、風疹の予防接種を受けていない39～56歳の男性に抗体検査とワクチン接種の助成を行います。



日本で風疹が流行中

新規

31万円

▽39～56歳男性に風疹抗体検査とワクチン接種

新総合体育館の建設のため、ファミリースポーツセンターと旧村立診療所を解体します。



役目を終えます

新規

6300万円

▽ファミリースポーツセンターの解体工事

どう使われる？

予算の 主な質問

予算委員会
3月14～18日

平成31年度一般会計および特別会計の各会計予算案は、議長を除く8議員で構成される予算特別委員会を設置し、これに付託し審査を行いました。

事業内容や事業効率・効果などについて活発な質疑を行い、議案ごとに討論・採決を行った結果、全ての議案を全員賛成で「可決すべきものと決定しました。」

▼委員長 松井広道

▼副委員長 秋里広志



▽IP告知端末の更新



吉田保博委員

IP告知端末が新しく変わるが詳しい内容は。

総務課長

IP告知端末の更新時期を迎える道内5町村と共同運用を行います。共同運用を行うことで経費の節減が可能となります。

来年1月から3月にかけて順次、各家庭と病院や福祉施設などに設置します。

今回の端末にはキー

パッドが付属されているので、設置が終了した来年4月に端末の使い方説明会を行います。

また、スマホでも使えるようになります。

▽ドローンで熊の確認を



東 隆行委員

近年熊の出没が多くなっているが、デントコーン畑の中にいる熊を確認するのにドローンを活用しては。

産業振興課長

効果はあると思います。が、ドローンで見つけられないところ熊がいた場合のことを考えると、慎重に考えないといけません。

▽地域公共交通プランの策定



吉田保博委員

プランの策定で各地域で住民懇談会を行っていたが、現在の状況は。

住民生活課長補佐

住民懇談会では、路線バスや福祉バス、スクーリングバスなどの有効活用や、高齢者で免許返納した後の釧路への交通手段などの意見が出され、今後、策定委員会で検討していきます。

▽民間賃貸住宅へ建設補助金を新設



大津泰則委員

民間賃貸住宅に補助金を出す。建設エリアは。また、村有地を貸す場合は。

建設課長

建設エリアについては、世帯向け住宅が必要な地域で、建設コストが安い下水道地域を考えています。

村有地に建てる場合は50年の定期借地権で借地を行い、50年後には更地で返却してもらいます。また、もっと短い期間での借地にも対応する予定です。

今年度はメゾネットタイプの世帯用4戸を整備したいと考えています。



期待される地域公共交通プラン



平成31年度予算は

▽新総合体育館の設備内容は



松井洋和委員

新総合体育館の基本設計が出来ているが、その内容は。また、完成するまでの対応は。

教育課長補佐

鉄筋コンクリート2階建ての一部木造で、体育館部分はほぼ同じ大きさですが、2階に一周140m位のランニングデッキを考えています。

また、一階部分にはサブアリーナ、トレーニングスペース、コミュニティスペース、キッズスペース、シャワーやロッカーなどを考えています。また、現在のファミリースポーツセンターは7〜8月位から取り壊す予定なので、代替施設として鶴居小学校・鶴居中学校の体育館を考えています。

▽タンチョウと共生するには



佐藤吉人委員

海外には鶴の農業被害などに、野生保護と産業・観光の面から対策をしているところがあるので、視察しては。

教育長

タンチョウ自然専門員がナベツルの飛来地の鹿児島県出水市を視察しています。今後の参考にします。

▽市街に大型バスの駐車場が必要では



大津泰則委員

今後、交流人口が増えてくると、大型車両が停められる駐車場が必要では。

村長

駐車場だけを整備すれば良いわけではないので、市街地の活性化のためにも、今後に向けて検討します。

▽入湯税が減っているのは



東 隆行委員

入湯税が毎年減ってきているが、その要因は。

企画財政課長補佐

入湯税については、過去5年間の実績などを考慮しながら予算を計上しています。昨年のブラックアウトの影響がありますが、ここ数年は横ばいで推移していると認識しています。

▽簡易軌道のシンポジウム



佐藤吉人議員

簡易軌道シンポジウムの内容は。また、貨車の展示は。

教育課長補佐

今年度は11月に総合センターで開催します。全道・全国から来て欲しいと思っています。

教育長

新たな貨車の展示については、効果的な展示方法をもう少し模索したいと考えています。



簡易軌道が観光名所に

▽移住体験住宅から移住につながる



秋里広志委員

移住体験住宅から移住につながったのは。

企画財政課長

1件か2件の実績と なっています。移住目的ではない利用者もいるようなので、移住につながるように努力します。

▽児童虐待の状況は



松井洋和委員

全国的に児童虐待が問題となっている。本村の児童虐待の状況は。

保健福祉課長

過去5年間で5件の虐待の報告がありました。5件すべて直接児童相談所に通報されたものです。

教育長

近隣住民から学校に、ネグレクトではないかとの情報提供があり、すぐに保健福祉課と対応したことがあります。

予算委員会 3月14〜18日



定例会 主な内容

3月定例会のあらまし

第1回定例会は3月12日に開会し、18日に閉会しました。人事案件2件です。議員発議は意見書1件です。村長からの提出議案は25件で、内訳は専決処分1件、一般質問では7議員が14項目の質問をし、村政を問条法案案件8件、新年度予算案件7件、補正予算7件、いただきました。



今年度も 村税が「増収」

▽村税の

収入が増加

2069万8千円

村民税の個人は、農業所得の家畜個体販売価格が引き続き堅調であることや、給与所得の納税義務者数が増加したことによる増額補正です。村民税の法人は、業績が好調見込であることから法人税割の増収見込みによる増額補正です。固定資産税は、償却資産の増加を中心とした増収見込みによる増額補正です。軽自動車税とたばこ税は実績見込みによる補正です。

村民税個人	1418万円の増額補正により	1億 3720万円
村民税法人	285万円 //	1776万円
固定資産税	470万円 //	1億 8219万円
軽自動車税	34万円 //	803万円
村たばこ税	△139万円 //	1792万円

▽新規就農者の

受け入れ施設建設に村が助成

200万円

新規就農者の誘致促進と、担い手・後継者の育成を目的に、村内に事業所がある農業協同組合と農業者が組織する団体が、新規就農者を受け入れる施設を整備する費用に対し、村が一部補助します。



釧路丹頂農協の新規就農者施設

平成30年4月1日から令和8年3月31日まで
 新築施設(500万円以上)：延床面積 50㎡以上 100㎡未満 100万円
 延床面積 100㎡以上 150万円
 (コミュニティ機能施設併設の場合は50万円加算)
 中古住宅(50万円以上)：購入費用の20%(上限100万円)

▽給与増額

327万7千円

国の平成30年度人事院勧告に準拠した、村職員の本俸と勤勉手当の引き上げと、特別職の期末手当の引き上げによる増額補正です。

村職員(59人)：本俸引上げ…平均0.2%
 期末・勤勉手当…4.4→4.45月分
 特別職(3人)：期末手当引上げ…4.4→4.45月分



大石村長の村政執行方針



本年は天皇陛下の御退

位、並びに皇太子様の御即位により、30年余に亘った平成の時代に終わりを告げ、新たな時代を迎える歴史的な節目の年であります。

また、今年度は私に与えられた任期の実質最終年でもあります。この間、深いご理解とご協力を賜りながら、村民の暮らしの安定確保や本村の限らない発展を願い様々な施策を進めてまいりました。私に与えられた任務において、地域や行政課題の解決などに全力を傾注して取り組みたいと考えています。

情勢や国内事情を抱えながら、誰もが生きがいを持って充実した生活を送ることができる一億総活躍社会の実現を目指してまいります。

本村も国内外や広域的な地域の動きを注視しながら、村民需要に寄り添った第5次鶴居村総合計画の着実な実現に向け、各種事業を重点的に、具体的な進めていくことといたします。

▼主要施策の6つの柱

- ① 地域特性を活かした活力あるむらづくり。
- ② ともに支え合い生き生きと暮らせるむらづくり
- ③ 安心・安全で快適に暮らせるむらづくり。
- ④ 豊かな自然と共生する美しいむらづくり。

- ⑤ 豊かな人間性を育むむらづくり。
- ⑥ みんなで歩む協働のむらづくり。

今日、少子高齢化や人口減少、地方創生の時代を迎え、本村も多くの課題を抱えています。

第5次鶴居村総合計画「つるい未来創造プラン」のテーマにある「協働による新たな時代への挑戦」の考えに基づき、すべての目標や課題を村民皆さんと共有しながら、行政課題の解決や各種むらづくりの推進に、ひとつひとつ丁寧にあたっていく覚悟です。

村民の幸せと美しく羽ばたく鶴居村の創造を目指しながら、与えられた職責を全うするため、職員と一丸となって取り組んでまいります。

国安教育長の教育行政執行方針



学校教育

- ① これからの時代・21世紀を「たくましく生き抜いていくための力」の醸成。
- ② 「地域ならではの」「学校ならではの」の特色ある教育を実践し、追及する学校。
- ③ 行き届いた教育を一層推進するための教育環境の推進。

生涯学習

- ① 特別天然記念物「タンチョウ」との共生に向けた対応。
- ② 北海道遺産「鶴居村常軌道」の保存と活用。
- ③ 生涯学習活動の推進。

平成31年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計（第6号）	↖ 2億7161万3千円	53億0469万3千円	全員賛成により可決
水道特別会計	↖ 28万2千円	4291万6千円	全員賛成により可決
農業集落排水特別会計	↙ 51万0千円	5711万7千円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	↖ 87万6千円	3億6852万2千円	全員賛成により可決
診療所特別会計	↙ 453万4千円	7760万4千円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	↙ 705万5千円	2億6390万3千円	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	↙ 49万0千円	3846万0千円	全員賛成により可決



定例会 主な質問

補正予算や条例改正の ここが聞きたい

▽ふるさと祭り 中止の影響は



松井洋和議員

昨年のおふるさと祭りが中止になったことで、関係協力団体などへの影響は。

産業振興課長補佐

すでに発注していたポスターや商品券の購入費用は発生していますが、その他の影響はありませんでした。

▽酪農海外視察研修 が未実施



吉田保博議員

酪農教育振興基金で毎年、海外視察研修を行っているが、実施されていないのは。

産業振興課長

前もって参加者を調査して予算措置していますが、今回は予定していた人が参加できなくなったため、実施できませんでした。

▽広域保育と 保育時間



秋里広志議員

広域保育の状況と保育時間の今後は。

保健福祉課長

現在、釧路の幼稚園・保育園に2人通っています。今後、新施設に向けて保育時間の検討も行いたいと考えています。

▽診療収入が 減少している



及川満浩議員

診療所の診療収入が500万円ほど減額補正されているのは。

保健福祉課長

受診者数は増えているのですが、受診単価が下がっているのが要因です。

▽新規就農者 受入施設補助金



佐藤吉人議員

新規就農者受入施設に200万円の補助金を支出しているのは。

産業振興課長

釧路丹頂農協が昨年11月に建てた施設に対し、規約にそって支出しています。



受診者数は伸びています

▽シヨートステイの 利用者が増加



及川満浩議員

居宅介護サービス費が増えて、施設介護サービス費が減っているのは。

保健福祉課長

居宅介護では、施設に短期間入所するシヨートステイを利用する人が増え、施設介護では、施設を利用する人が少なくなっています。

広域議会

釧路町村議会議長会

12月20・21日 釧路町 松井議長

北海道町村議会議員

北海道町村議会等組合議会

北海道町村議会議長会理事会

北海道後期高齢者医療

広域連合議会定例会

2月14・15日 札幌市 松井議長

釧路町村議会議長会

2月18日 白糠町 松井議長

釧路広域連合議会

2月18日 釧路市 東 隆行

全国過疎地域自立促進連盟

北海道支部役員会

2月21・22日 札幌市 松井議長

釧路北部消防事務組合議会

2月26日 弟子屈町 吉田保博

及川満浩

松井洋和



**定例会
議案賛否**

3月定例会 審議した議案と結果

上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	吉田保博	松井洋和	及川満浩	東隆行	佐藤吉人	秋里広志	大津泰則	松井広道	松井宏志
平成31年度予算											
一般会計		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道特別会計		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正											
鶴居村森林環境譲与税基金条例の制定 村の間伐や人材育成、木材利用の促進など森林整備の財源のための基金		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正 法律の改正に伴う規定の改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員等の旅費に関する条例の一部改正 やむを得ない事情により旅費規程を超える場合、実費額を支給できる改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正 法改正に伴い、災害援護資金の利率3%を3%以内とする改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
村立診療所条例の一部改正 診療内容の項目を現状に合うように改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正 北海道への移行に伴う、国民健康保険税率の段階的な引上げによる改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路占用料徴収条例の一部改正 国が示す指針に合わせる改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふるさと情報館設置条例の一部改正 ふるさと情報館の図書室が図書館になるための改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度補正予算											
一般会計（第6号） 主に事業費の変更と事業費の確定による不用額の整理		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道特別会計（第3号） 主に事業費の確定による不用額の整理		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計（第2号） 主に事業費の確定による不用額の整理		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計（第3号） 主に事業費の確定による不用額の整理		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計（第2号） 主に事業費の確定による不用額の整理		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計（第3号） 主に事業費の確定による不用額の整理		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計（第2号） 主に事業費の確定による不用額の整理		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人事											
人権擁護委員の推薦（宇野健二さん）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦（小泉きぬ子さん）		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他											
北海道市町村総合事務組合規約の制定並びに廃止 地方自治法の規定に基づき改正		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書											
水道事業の基盤強化等を求める意見書の提出		全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。



秋里 広志 議員 P13

- ①新たな保育園への統合を

松井 洋和 議員 P14

- ①ふるさと納税の今後の展開は
- ②2020年の教育改革で変わるの

東 隆行 議員 P15

- ①エゾシカ駆除の今後の対応は

及川 満浩 議員 P16

- ①認可保育園へ移行するのは
- ②認知症の高齢者への対応は

吉田 保博 議員 P17

- ①空き家対策は
- ②村民の森の今後は

佐藤 吉人 議員 P18

- ①食育とふるさと給食の充実を
- ②学校施設の社会教育への利用は
- ③タンチョウ給餌場の冬季管理を

大津 泰則 議員 P19

- ①ベトナムとの観光交流の充実を
- ②ワイン用ブドウ栽培の拡充は
- ③鶴居市街地利用計画の作成を

7人の議員が14項目の質問
村政のことが聞きたい

一般質問

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

新保育園への統合を

村長 今後の推移を見守り対応



あきさとひろし
秋里広志 議員

秋里

現在、鶴居と幌呂に二つの保育園があります。

村では老朽化が進んだ鶴居保育園に代わり「子ども・子育て支援複合施設」を31年度から建設を始めます。この新施設は保育園機能を中心に学童保育や子育て支援センター、さらに給食機能を設ける予定です。

一方、幌呂の保育園も築40年を経過し、老朽化

が進んでいます。

新しい施設の内容が明らかになるにつれ、幌呂保育園に通う園児の保護者からも「新しくなる保育園で多くの仲間との生活をさせたい」との声や、一般村民からも「両園を新しくすることは考えられないので、保育施設の統合について、今が進める時なのではないか」と促す意見もあります。

新施設の着工と共に、



築40年の幌呂保育園

村長

幌呂保育園の鶴居保育園への統合については、下幌呂地区の村政懇談会で、新施設への通園要望も含め、一部保護者などから提起されましたが、幌呂保育園は、下幌呂地区の園児だけでなく幌呂地区の園児も通園する保育施設として、今後の保育運営の根幹に関わる重いご意見として伺うにとどめ

たところですが。しかし、築40年を迎え、今後の園児の推移などを考えると、建て替えや改築は当面困難と言わざるを得ないと考えます。

また、幌呂保育園の歴史や支えてこられた地域住民のご尽力には、十分に敬意を表しますが、当園を取り巻く環境は厳しさが増しています。

少子化や人口減少は、地域の将来に大きな影響を与えるものであり、これら課題に対処し、備えていくことは行政の重要な役割であると考えています。

何より、次代を担う子どもたちの成長を支えていくために、保護者や地域との合意形成を図りながら進めていくことが必要ですので、保育園統合に向けてのご意見を受け止め、今後、推移を見守りながら対応したいと考えます。

議会だよりは要約されています。
臨場感ある本会議場へお越しく下さい。
議会の傍聴お待ちしております。
6月4日(火)10時～役場2階





まつい ひろかず
松井洋和 議員

ふるさと納税の拡大を

村長 クラウドファンディングも検討し推進

一般質問 松井洋和

松井 本村も30年度はふるさと納税サイト「さとふる」に登録したこともあり、寄付額が伸びています。

そこで、本村のふるさと納税の今後について村長がどのように考えられているのか伺います。

村長

昨年からの寄付者が返礼品を選取できるように事業内容を見直し、ふるさと納税サイト「さとふる」を活用することで、2月末時点で寄付件数1054件、寄付金額が1689

万円となり、大きく伸びてきています。

今後は、さらに寄付者の拡大を目指すため、返礼品の充実と新たな特産品の開発などによる地域の産業振興に努め、鶴居村らしい魅力あるふるさと納税の推進に取り組みたいと考えています。

また、市町村が抱える課題解決のために、ふるさと納税の使途をより具体的にプロジェクト化した「クラウドファンディング」についても検討したいと考えています。

平成29年度ふるさと納税額

白糠町	18億5561万円
釧路市	4億1766万円
厚岸町	2億9722万円
釧路町	1億3196万円
弟子屈町	1億0472万円
浜中町	1億0022万円
鶴居村	496万円
標茶町	45万円

海産物はやはり人気があります

2020年教育改革とは

松井

2020年度から新しい学習指導要領が実施されます。小学5・6年生に英語が必修化され、プログラミング教育が始まり、授業がアクティブラーニングというスタイルになるようです。

そこで、2020教育改革で本村の教育がどのようになるのか教育長に伺います。

教育長

今回の改訂により、5・6年生の英語科は、現行週1時間であったものが週2時間、年間70時間となります。3・4年生の英語活動は、週1時間、年間35時間の必修となります。

本村では、2名のALTの確保をし、さらに指導内容の充実を図ります。

プログラミング教育は、児童にコンピュータに意図した処理を行うように指示することができるということを体験させながら、将来どのような職業に就くことになっても、時代を超えて普遍的に求められる力としての「プログラミング的思考」を育成するものです。どの単元や教材で導入することが最適なのかを、課題を整理しながら、具体的に詰めていきます。

アクティブラーニング「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにします。

本村では、すでに実践的に進められています。



今後のエゾシカ駆除は

村長 出来る限りの対策を講じる

東

毎年のように村政懇談会でエゾシカ駆除の要望が出されま

す。村も猟友会の20名にエゾシカ駆除の従事者証を発行していますが、毎日、駆除に従事できる方が数名しかいない状態です。そこで、エゾシカ駆除の出来る人に鶴居村に移住

していただく、また、冬場は囲い罠による捕獲をしています。成果が上がらないと聞いています。そこで、くくり罠などを購入して試験的に使ってみてはと思います。今後のエゾシカ駆除への対応について、考えを伺います。

村長

本村の野生鳥獣による農業被害対策は、地元猟友会や鳥獣被害対策協議会などの連携により対策を講じていますが、抜本的な解決に至っていないのが現状です。

特に、エゾシカによる農業被害額は、平成29年度の調査で約1億円にのぼり、また、村内のエゾシカ捕獲頭数も、本年度は現在までに925頭と、前年度の70%程の状況になっています。そこで、移住による駆

除従事者の確保については、銃を所持する上で、地域事情や地理的条件などの把握に時間を要し、即戦力としての活動が制限されるため、現状では難しいと考えています。

また、現在3基の囲いわなを設置していますが、下幌呂地区では捕獲実績が、12月中旬から現在までに50頭で比較的良好ですが、支雪裡地区と中久著呂地区では、現在まで捕獲実績がありません。くくり罠による駆除も、これまでに何度も実施していますが、十分な効果を得ることが出来ませんでした。

今後は、実施隊員の現状を十分に考慮し、囲いわなによる捕獲の継続や移动式囲いわなの補充などにより、できる限りの対策を講じながら、農林業被害の軽減や地域環境の保全に努めたいと考えています。



あづま たかゆき
東 隆行 議員



農業被害額は年1億円にも

表紙の写真



100周年を迎える

幌呂小学校入学式

4月5日に幌呂小学校で行われた入学式後の、教室でのコマです。

新一年生は一人でしたので緊張したと思いますが、上級生や先生方に祝福された。素敵な入学式でした。



一般質問 東 隆行



おいかわみちひろ
及川満浩 議員

認可保育園へ移行検討は

村長 新保育園は国の認可基準で整備



新施設は国の認可基準で整備

一般質問 及川満浩

及川

新年度の村政執行方針の中

で「運営体制を含め、認可保育園への移行」について「具体的な検討を行い、判断する」とされています。

このことは従来の保育園の運営方針を転換することと捉えられます。そして、認可保育園への移行は保育サービスの向上につながると考えます。改めて村の保育行政の方針転換に至った経過と今後の対応について伺います。

村長

村政執行方針の中の「認可

保育園への移行について具体的な検討を行い、判断すること」が、「従来の保育園の運営方針を転換することと捉えられ」とのことですが、これまでの考え方や運営方針を否定するものではなく、村の保育園の歴史や活動を大切にしながら、国が定める基準に基づいた認可保育園への移行も具体的な視野に入れ、検討・判断することで、より一層の子育て支援の充

実を目指すことが、基本たる主旨です。

新施設は、保育園に関して国が認可基準で整備し、また、放課後児童クラブや子育て支援セン

認知症の高齢者への対応

及川

平均寿命が上がる中、認知

症の高齢者も増えつつあり、村もこのことを重視して対応しています。

認知症は在宅での家族介護に大きな負担となります。そこで、村の認知症の高齢者の現状と今後の対応について伺います。

村長

2025年には、高齢者の5人に1人が認知症を発症し、大きな社会問題になると予測されています。

現在、村は全ての高齢者を視野に入れた「地域

ターなども設置する複合施設であるので、スケールメリットを生かした施設全体の運営方針について、より具体的な検討を行いたいと考えます。

包括ケアシステムの構築を進め、地域包括支援センターによる相談事業や社会福祉協議会と連携して進める「認定サロン」での介護予防事業、さらに地域で自主的に取り組まれている「集いの場」への支援など、あらゆる角度から、認知症予防事業に取り組んでいます。

今後、ご家族の負担軽減や本人が在宅生活を可能な限り続けることができるよう、医療・介護などの関係職種との連携を図り、村として可能な支援を行いたいと考えています。



空き家への対策は

村長 現状を調査し取り組みを検討

吉田

村道、道道沿いにも年々増えて目立つ空き家について、現在、村内に何戸の空き家があるのか把握しているのでしょうか。

まだまだ再利用できる家も多くあると思います。が、空き家バンク制度の活用状況はどのようになっているでしょうか。また、長く放置され廃屋になった家・畜舎も散見されます。防犯・防火・

防災対策・近隣住民の安全対策としても景観形成からも、美しい村鶴居村にふさわしい対策を期待しますので、村長の見解を伺います。

村長 現在、周辺環境に著しく危険を与えるような建物は基本的には存在しないと

考えていますが、高齢化や人口減少などが進むことにより、さらに、空き家が増加していくことが予想されることから、春先以降、現状把握のための調査を実施したいと考えています。

次に、空き家バンクについては、平成25年度以降の制度利用による成約については、賃貸3件、売買で3件となっています。

また、家屋修繕費に對して費用の一部を支援する空き家バンクモデル助成事業補助金について

は、これまで3件の実績となっています。

今後も空き家バンク制度の推進や、美しい地域景観の創出、安全対策に

村民の森の今後は

吉田

29年6月定例会の「村民の森」の再整備についての質問に対し、「村民の森」の再整備についての

向上に向けた施設整備の検討を進めています。具体的な見通しが立っていません。

の特性や魅力などを改めて検証しながら、検討していきます」ということでした。その後どのような検討がなされたのか。

また、展望塔についても利用不能の状況であり、外壁の崩落などが危惧され、何らかの対応が必要と思われるが、今後についての見解を伺います。

つながる取り組みなどを、住民参加を得ながら進められるよう検討したいと考えています。

また、展望塔の活用については、建物の再利用と解体の両面から検討を進めていますが、解体には補助金返還も含め5500万円ほどの費用負担が想定されるため、慎重な判断が必要と考えます。

いずれにしても、村民の森全体の景観維持や観光振興などの観点からも、今後早い段階で施設の在り方やその方向性を定める協議検討を進めたいと考えています。



よしだ やすひろ 吉田保博 議員



村民の森と展望塔の将来は

村長

現在、キャンプ場やフットパスコースなどの利用率

は、これまで3件の実績となっています。

一般質問 吉田保博



さとうよしひと
佐藤吉人 議員

給食に地域食材の活用を

村長 価格面と給食衛生基準に準じて活用

一般質問 佐藤吉人

佐藤

教育行政執行方針に「食事の重要性や食事の際のマナー」とありますが、「著の正しい持ち方」について、指導されているのか伺います。

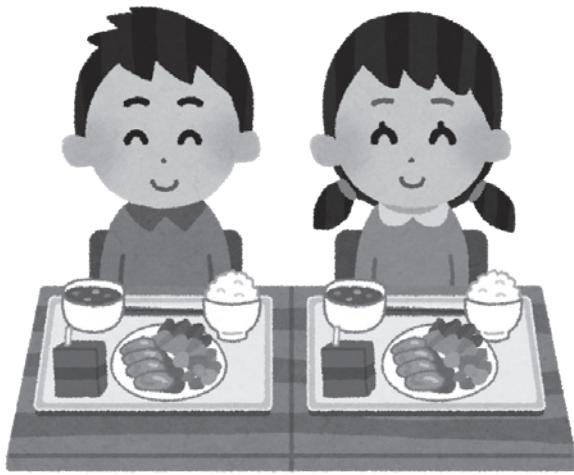
また、より積極的な地域食材の活用を図り、季節的な野菜ばかりではなく、一年を通してふるさと給食で食材として活用できるものもあります。教育長の見解を伺います。

教育長

「著の持ち方」については、「給食の時間」の重点項目の中に「正しい箸の持ち方」を設定し、指導しています。

「ふるさと給食」については、チーズや牛乳、野菜などの地域食材を購入しています。価格面や給食衛生基準などから購入できないものもあります。

内容は、各学校で検討し、実施しています。



栄養バランスのとれた美味しい給食

もつとプラネタリウムを

佐藤

鶴居中学校のプラネタリウムを社会教育の一環として活用するなど、鶴居の星空を住民に興味を持ってもらい、村内外へアピールすることも可能と考えますが、見解を伺います。

教育長

日常的に、何時でも、プラネタリウムをお見せすることはできませんが、

昭和54年の校舎建設時に設置したものですから、設備や機器類が古くなってきたことと星座の詳しい解説・説明は難しいと伺っています。

毎年、鶴中祭で、実行委員会を組織して公開します。多くの方々に来校していただき、プラネタリウムとともに鶴中生の活躍し、躍動する姿をご覧になっていただきたいと思えます。

タンチヨウ給餌場の管理は

佐藤

鶴見台やサンクチュアリに鶴を見に来る観光客の見学場所の足元については、管理はほとんど行われていません。

安全面からも、砂をまくなど何らかの転倒防止や、柵の移動などの対策について、伺います。

教育長

給餌、トイレ清掃は実施していますが、見学場所の足元については、維持・管理をしていないのが実情です。

次のシーズンに向けて、何らかの対策を関係者と協議し、対応したいと考えています。



ベトナムと観光交流を

村長 相互の観光交流を推進

大津

村政執行方針
に台湾とベト

ナムとの交流を軸に、インバウンド観光のより具体的な観光コンテンツの発掘や、商品化に向けて取り組んでいくとあります。

特にベトナムとの観光交流の充実を図るべきと思いますが、考えを伺います。

村長

昨今、本村でもインバウンド観光の需要が高まっています。

ベトナムとの交流では、約2ヶ月間、旅行会社HISベトナムホーチミン支店より現地スタッフに来てもらい、ベトナムへの本村観光情報の発信に精力的に取り組んでもらいました。ベトナム

語でのフェイスブックフォロワーが1000人を超えるなど、短期間で大きな成果をあげてもらいました。また、ベトナムホーチミンで開催された「ジャバン・ベトナムフェスティバル」に私自身も参加し、北海道の知名度や食への関心の高さを肌で実感してきました。今後のベトナムとの交流については、新たな人的交流も含め、相互の観光交流の推進に向けて取り組みたいと考えています。

ブドウの栽培場所の拡充を

大津

村政執行方針
に醸造用のブ

ドウ栽培については、栽培場所の拡充や醸造施設の整備などの検討を進めていきますとあります。

栽培場所の拡充についてどう考えているのか伺います。

村長

栽培場所の拡充として、約200本の苗木の購入を予定しており、総体で約1300本の苗木の管理を想定しています。

今後、新たな栽培場所の確保や醸造の可能性について再度検証し、検討したいと考えています。

鶴居市街土地利用計画を

大津

村民の交流を
活性化し、賑わ

いと活力あふれる地域を形成する地域交流施設のコンセプトデザインを作成中であり、期待しています。

しかし、民間などの遊休地もまだまだあります。公共施設をはじめとする鶴居市街地の土地利用計画に、取り組むべきではと思いますが、考えを伺います。

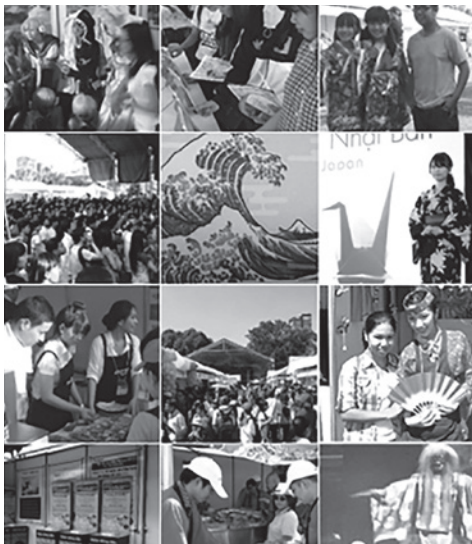
村長

市街地活性化
のための土地

利用の在り方については、行政と地域住民、関係団体が一体となって検討することが望ましく、これらの課題を地域全体で考え協議する場の設置を検討したいと考えます。そのうえで、市街地の土地利用計画の必要性も含め、幅広く議論したいと考えています。



おおつやすのり
大津泰則 議員



ベトナムと鶴居の交流は

一般質問 大津泰則



議員からひとこと

第10代議長

松井宏志



「誠心誠意」。これは私が平成3年鶴居村議会議員として初陣を飾った時からのスローガンですが、初当選以来、尊敬する先輩、信頼できる同僚、多くの皆様方のご指導の下に7期28年もの間務めさせて頂いていただきましたことに衷心より深く感謝申し上げます。

我が家の家訓は「他人から騙されても他人を騙してはいけない」です。私が幼少の頃から良く聞かされてきた言葉で、今では孫たちにも機会あるごとに言って聞かせています。「人は死ぬまで勉強をしなければ進歩は期

待できない」。これも名言だと思えますし、努力した人は報われるとも言われることです。「ご先祖を敬う」。ご先祖が守られていることは忘れてはならないことです。「傲岸不遜」という言葉

があります。自らを忘れてしまうことで周りを観ることを失い、非人道的な行為を平然と出来る人が、この広い世界には実在します。とても恐ろしいことで、やがて後世に何かしらの変化をもたらすと言われています。

人生には先輩、後輩のルールがあります。「言葉は時には凶器にも変わる。暴言はその人の評価が下がるのみならず人生のリズムが狂う」とさえ言われます。

少子高齢化が進む時代に幸せな鶴居村が存続することを切望いたします。

副議長

松井広道



この4年間は、初めての経験で副議長の要職をいただき、予算・決算特別委員会では委員長を務めさせて頂いていただきました。また、議員定数及び報酬等特別委員会では先進地視察をするなど、色々な議論がなされましたが、現状維持の結論を出しました。

今後議会として、しっかりとした産業と住民生活の環境整備を整えるため、住み良い村、住み良い村、住んで良かった村を目指して、しっかりと活動しなければと認識を新たに心に刻みたいと考えています。

総務常任委員長

大津泰則



私の念願でもある議会改革については同僚議員とともに、平成14年6月議会より一般質問を「一問一答制」とし、今期も「一問一答制の時間制」「村長及び職員への反問権の付与」などを、協議を重ね導入し、一步一步着実に進んできたと思っています。

また、18歳から選挙権が制度化されましたが、中学生や高校生などの世代に対しての、広報広聴活動も重要な取り組みになるように考えます。

4年間、村民の皆様にご指導賜りありがとうございました。

産業常任委員長

吉田保博



産業常任委員長に就任したこの4年間に、酪農従事者確保対策・経営安定化対策・多様な農業への就農支援対策などについて、JA丹頂農協理事者や酪農振興会鶴居支部との意見交換会を行い、今後の鶴居村酪農について話し合いました。また、観光振興については、観光協会の考え方と今後の観光振興対策について話し合いました。さらに、バイオマス発電についても検討を重ねました。

その他に北部消防事務組合議会の監査委員、釧路地方議連副会長などの要職を経験しました。



この4年間を振り返って…

広報広聴常任委員長

秋里広志



この間の議員活動で印象深いのは、台風の大雨で下久著呂地区の草地在冠水し一面が水没した状況をみて、持続的な河川管理の重要性を北海道や国に要請しなければと痛感したことです。

次に、子ども子育て支援複合施設に関する統合や保育内容の充実について、保護者の方々と意見交換が出来たことです。意見交換の場では、「さらにその先には少子化の問題がありますよ。」と大きな問題提起を受け、難しい問題ですが真剣に取り組んできた4年間でした。

議会運営委員長

松井洋和



議会運営委員長として、議会での議論がより深まり、より分かりやすく、より身近にするには何をすべきか。

広報広聴副委員長として、「議会だより」を読んでもらうためにはどうすべきか。議会の活動をどう伝えたら良いのか。総務副委員長、産業委員として村全体の諸課題をどうするのか。他地域の取り組みを活かすにはどうしたら良いのか。この4年間ずっと考えてた気がします。あつという間でしたが、議員はとてもやりがいがある仕事だと言えます。

総務常任委員

東 隆行



私がこの4年間で力を入れたことは、鹿、キツネ、狸、カラスを出来るだけ多く駆除することです。そのためには、囲い罠など一度に多くの頭数が捕獲できる物も必要になります。

鶴居村も狩猟者の高齢化が進み、今では20名を切っている状態です。また、タンチョウの給餌量の減少により、農家の濃厚飼料、コーンサイレージの食害が多く聞かれるようになりました。今後、皆様の意見や実態を良く見て良く聞いて、課題に取り組みたいと思います。

産業常任副委員長

佐藤吉人



この任期中には開村80周年という、たいへん大きな出来事や、美しい村連合全国大会なども本村で開催されました。

特に自分としては、この鶴居村を現在のような財政に余裕のある村にしていたのだ、故・錠者和三郎元村長と日野浦前村長が名誉村民の称号を同時に受賞された事が印象的でした。「福祉ふくし環考かんこう」は精神的・知的の人たちが村の一員として、なくてはならない人たちであることをアピールする造語です。これからも、この仲間たちを支えます。

総務常任委員

及川満浩



この4年間で村は保育園の3歳未満児保育の開始、つるぼーの家のオープンなどがありました。また、今後は子育て支援施設や体育館などが新しく建設されます。

こうした中で、私は保育が村の課題の一つと考え、より良い保育環境の提供をとり組み、保育園にて3歳未満児保育が開始されたことは大きな喜びです。しかし、産業振興や高齢者へのケアなど問題は山積しています。私自身、未熟でありませんが皆様のご協力を賜り奮闘した4年間でした。

紹介と抱負

自己紹介

- ①生年月日
- ②年齢・血液型
- ③議員活動の抱負
- ④趣味
- ⑤尊敬する人
- ⑥広域議会関係

第11代議長

まつい ひろみち
松井 広道
無所属
当選7回



- ① 昭和25年8月23日生
とら年・おとめ座
- ② 68歳 O型
- ③ 議長という重い職責
を担い、新たな気持ちで村・村民そして産業振興・社会福祉のためにしっかりと見える活動をする。
- ④ 音楽鑑賞
- ⑤ :
- ⑥ :

副議長

あきさと ひろし
秋里 広志
無所属
当選5回



- ① 昭和17年8月13日生
うま年・しし座
- ② 76歳 A型
- ③ 今より少しでも「住んで良かった」と思えるように皆さまの声を聞きながらしっかりと頑張ります。
- ④ 我流のビデオカメラ
- ⑤ 秋里廣衛（祖父）
- ⑥ :

総務常任委員長

よしだ やすひろ
吉田 保博
無所属
当選4回



- ① 昭和26年1月16日生
うさぎ年・やぎ座
- ② 68歳 A型
- ③ 鶴居村の発展と村民の皆様の思いを村政に。議員活動に全力で取り組む。
- ④ カメラ
- ⑤ 吉田茂
- ⑥ 釧路広域連合議会
林活推進議員連盟

産業常任委員長

さとう よしひと
佐藤 吉人
無所属
当選3回



- ① 昭和28年5月18日生
へび年・おうし座
- ② 65歳 B型
- ③ 自分の議員活動のテーマは「福祉環考」であり「声なき人々の声（サイレントマジョリティー）」を吸い上げます。
- ④ 帽子収集、山菜採取
- ⑤ 松浦武四郎
- ⑥ 林活推進議員連盟

広報広聴常任委員長

まつい ひろかず
松井 洋和
無所属
当選3回



- ① 昭和40年9月10日生
へび年・おとめ座
- ② 53歳 A型
- ③ 皆さまの声をお聞きし、その声を力にしっかりと務めてまいります。
- ④ ネット検索
- ⑤ 稲盛和夫
- ⑥ 釧路北部消防
事務組合議会

新しい議員の紹介



新しい議員の

4月21日の議会議員選
挙で新たに議員9人が選
出されました。

総務常任委員会

委員長 吉田保博
副委員長 及川満浩
委員 秋里広志
委員 大津泰則
委員 松井俊治

産業常任委員会

委員長 佐藤吉人
副委員長 松井洋和
委員 秋里広志
委員 東 隆行
委員 松井俊治

広報広聴常任委員会

委員長 松井洋和
副委員長 松井俊治
委員 吉田保博
委員 佐藤吉人

議会運営委員会

委員長 東 隆行
副委員長 吉田保博
委員 佐藤吉人
委員 松井洋和

議会運営委員長



あづま たかゆき
東 隆行
無所属
当選4回

① 昭和28年12月26日生

へび年・やぎ座

② 65歳 O型

③ 有害鳥獣駆除、防災

対策、農業・福祉・

環境問題、高齢化・

少子化対策に取り組

む。

④ 山菜取り

⑤ 父親

⑥ 釧路北部消防

事務組合議会

議会選出監査委員



おおつ やすのり
大津 泰則
無所属
当選6回

① 昭和24年3月17日生

うし年・うお座

② 70歳 O型

③ 議会議員の責務と

義務をしっかりと果た

し、議会基本条例の

制定を目指します。

④ アイスホッケー、読書

⑤ 年をとっても勇気と

情熱と英知のある方

⑥ 釧路公立大学

事務組合議会

総務常任副委員長



おいかわ みちひろ
及川 満浩
日本共産党
当選3回

① 昭和36年4月5日生

うし年・おひつじ座

② 58歳 B型

③ 住民の声を村政に反

映できるよう、対話

を積極的に行いたい。

④ 読書

⑤ 住民の皆様。参考に

なる助言をして下さ

います。

⑥ 釧路広域連合議会

林活推進議員連盟

広報広聴常任副委員長



まつい しゅんじ
松井 俊治
無所属
当選1回

① 昭和37年11月15日生

とら年・さそり座

② 56歳 A型

③ 鶴居村のために、み

んなのために頑張

ます。

④ ゴルフ

⑤ 鶴居村を開拓した先

代の人達

⑥ 釧路北部消防

事務組合議会

新しい議員の紹介



就任あいさつ

第11代議長

松井広道



この度、議員皆さまのご推挙によりまして、鶴居村議会議長の要職に就くことになりました。誠に身に余る光栄でございます。

私は、本村議会議員として6期24年勤めさせていただきましたが、浅学非才でありまして、その器でないことをよく承知いたしておりますが、ここに皆さまのご推薦を受けましたうえは、一身を挺してそのご厚志にお報いする覚悟であります。

なお、議会運営につきましては、不偏不党・公正無私の立場を堅持いたしますことを、ここにお誓い申し上げますので、なにとぞ皆さま方の手厚いご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

次に、理事者各位にお願い申し上げます。我々議会といたしましては、いたずらに摩擦を起すようなことは、もとより避けなければなりません。同時に、安易な妥協に陥ることがあってはならないと存じます。

村政発展のうえに立って、正しく相携えて、村民の信託に応えていかなければならぬと考えておりますので、ご協力のほどをお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

副議長

秋里広志



この度、議員各位のご推挙によりまして、副議長の要職に就くことになりました。身に余る光栄と存ずる次第であります。

私ごときその器にあらざる者が、果たしてその重責を全うしうるかどうか、心中ひそかに不安を感じている次第であります。幸いにして人格識見とも傑出した松井広道議長のもと、同僚議員各位の絶大なるご支援とご鞭撻を賜りまして、この職責を全うしたいと念

願しております。また、理事者各位におかれましては、前副議長と同様、格別なご協力のほどをお願いしたいと存じます。

誠に簡単ではあります。申上げまして就任のご挨拶といたします。



ご意見を議会へ

村政について意見や要望がある場合、どなたでも議会に「請願」や「陳情」として文書により提出することができ。請願書・陳情書は随時受付けています。



間伐と間伐材の有効利用を促進して健全な森づくりに貢献します。

発行責任者

議長 松井広道

広報広聴常任委員会

委員長 松井洋和
副委員長 松井俊治
委員 吉田保博
委員 佐藤吉人

次回6月定例会は
6月4日開会予定
見に来て下さい